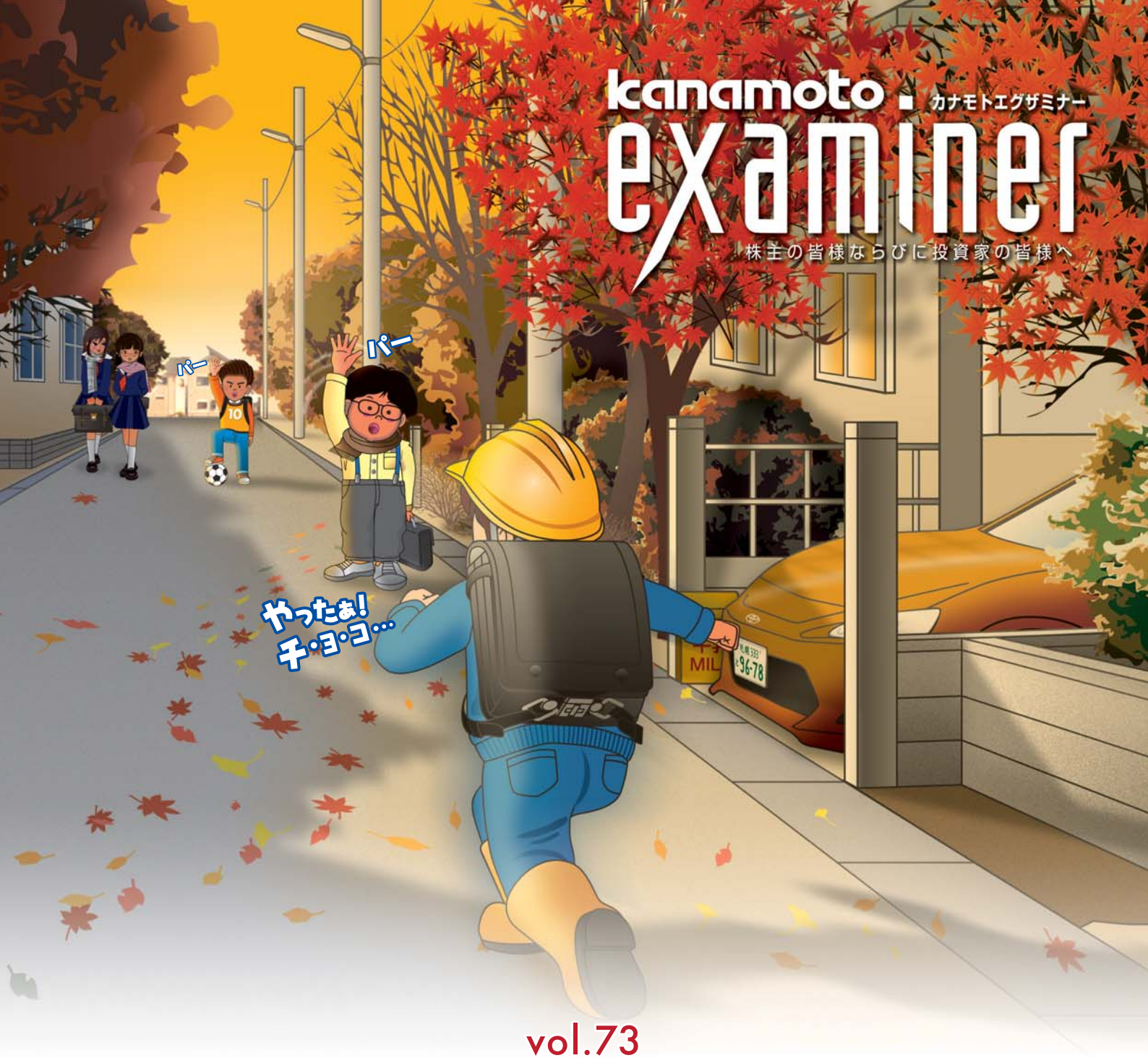


vol.73
第51期（2015年10月期）第3四半期号

東日本大震災への対応⑮ —— 復興事業費の新たな枠組み

一日も早い復興に向けて、今後も復興支援に尽力いたします。

東日本大震災の被災地で復興工事が本格化するなか、政府が「復興・創生期間」と位置づけている平成28（2016）年度から5年間の復興事業費が6.5兆円程度となることが正式に決定しました。

新たな枠組みの下では、「防災集団移転促進事業（高台移転）」などの基幹的事業のほか、三陸沿岸道路や相馬福島道路、市町村による防潮堤の建設なども復興に不可欠な事業として引き続き行われます。

当社グループは社会インフラとしてのレンタルの使命を果たすべく、引き続き復興支援に尽力してまいります。

■今後の復興事業費

（単位：兆円）

区分	復興・創生期間（平成28～32年度）
被災者支援（健康・生活支援）	0.4
住宅再建・復興まちづくり	3.4
原子力災害からの復興・再生	0.5
産業・生業（なりわい）の再生	0.4
その他（震災特交など）	1.7
合計 ※四捨五入しているため合計が6.5兆円とならない	6.5

出所：復興庁資料
「平成28年度以降5年間（復興・創生期間）の復興事業について（案）（平成27年6月）」を基に作成

岩手県陸前高田市の気仙川水門工事

岩手県陸前高田市の造成工事ベルコン点検

宮城県牡鹿郡女川町のURまちづくり工事

宮城県気仙沼市の三陸道気仙沼南トンネル工事

宮城県気仙沼市の鹿折川防波堤復旧工事

宮城県亘理郡亘理町の道路嵩上工事

「JPX 日経インデックス 400」構成銘柄に選定されました

当社はこのたび、「JPX 日経インデックス 400」の構成銘柄に新たに選定されました。

「JPX 日経インデックス 400」とは、株式会社日本取引所グループとその傘下の株式会社東京証券取引所、および株式会社日本経済新聞社が共同で開発した株価指数であり、資本の効率的活用や投資者を意識した経営観点など、グローバルな投資基準に求められる諸要件を満たした、「投資者にとって投資魅力の高い会社」で構成されるものです。

第51期第3四半期決算の概況 ［平成26（2014）年11月1日～平成27（2015）年7月31日まで］

●連結経営成績（累計）

	売上高（百万円）	営業利益（百万円）	経常利益（百万円）	四半期（当期）純利益（百万円）	1株当たり四半期(当期)純利益（円）
第51期第3四半期	98,956（6.8）	12,498（△2.5）	12,546（0.9）	7,499（4.2）	208.08
第50期第3四半期	92,657（15.4）	12,813（52.4）	12,430（49.4）	7,194（52.9）	199.63

●連結業績予想

第51期通期	131,030（4.4）	15,950（△3.1）	15,660（△2.6）	9,340（0.4）	259.16

（注）括弧内の数字は、前年同期増減率（%）を示しております。

［経営環境］

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、積極的な経済政策や金融政策の継続により、企業収益の回復や雇用環境が改善し、個人消費にも持ち直しの動きがみられるなど、景気は穏やかな回復基調で推移しましたが、中国をはじめとする海外経済の先行き不安、ならびに円安の進展による物価上昇への警戒感などにより、依然として不透明感を払拭できない状況が続きました。

［第3四半期の連結業績］

当社グループが関連する建設業界におきましては、東北の震災復興工事や首都圏開発工事関連の建設需要は引き続き好調に推移し、民間設備投資も企業収益の改善により増加傾向が見られました。しかしながら、公共投資の対前年比減少の結果、地域格差が顕在化するなど、全国的には前年度を下回る弱い動きとなりました。

このような状況のなか、当社グループは中期経営計画（平成26年度～平成28年度）の諸施策に基づく重点項目を推進し企業価値のさらなる向上に努めました。また、将来的な建設市場の変化を見据えたグループ全体の効率的な収益機会を確保するための地域戦略や海外戦略も積極的に推進いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は989億56百万円（前年同期比6.8%増）となりました。利益面につきましては、中国経済の減速や全国的な舗装工事量の減少から、一部の連結子会社の業績が低迷した事などにより営業利益は124億98百万円（同2.5%減）に留まりましたが、経常利益は125億46百万円（同0.9%増）、また、四半期純利益は74億99百万円（同4.2%増）となりました。

［セグメント別の業績］

建設関連

当社の主力事業である建設関連におきましては、東北地区は本格化した震災復興工事や除染関連工事により建機レンタル需要は好調に推移いたしました。一方、他地区においては一部で公共工事予算減少の影響から前年を大きく割る地区もありましたが全体的には前年と変わらず、総じてレンタル売上は底堅く推移いたしました。

なお、中古建機販売売上につきましては、適正な資産構成を維持するため、期初計画に基づき自社機の売却を行ったことから、前年同期比15.2%増となりました。

以上の結果、建設関連事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は918億13百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益は119億92百万円（同3.6%減）となりました。

その他

その他の事業につきましては、民間需要の回復から鉄鋼製品販売が当初見込みより大きく伸長したこともあり、売上高は71億43百万円（前年同期比23.7%増）、営業利益は2億27百万円（同65.7%増）となりました。

［事業所数の増減］

当第3四半期連結会計期間における拠点の新設は6拠点でありました。なお、閉鎖はありませんでした。

新設：東北機械整備センター（仙台市宮城野区）、北海道地区広域営業部（札幌市中央区）、平取機械センター（北海道沙流郡）、敦賀営業所（福井県敦賀市）、三郷営業所・東京小型機械センター（埼玉県三郷市）

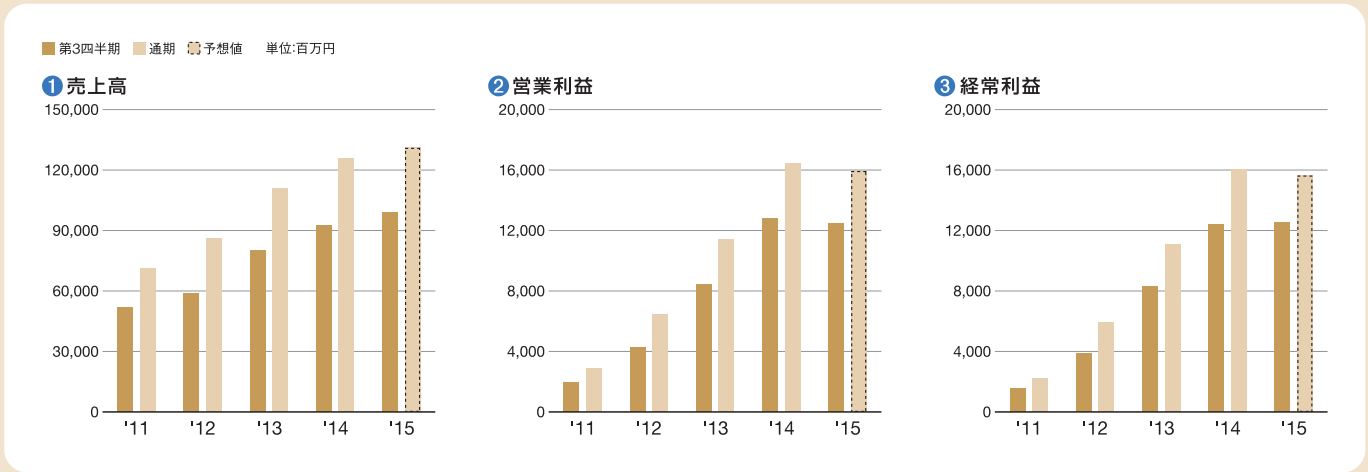
連結財務諸表

連結損益計算書（累計）

（単位:百万円）	第50期第3四半期 (2013.11.1～2014.7.31)	第51期第3四半期 (2014.11.1～2015.7.31)
❶ 売上高	92,657	98,956
売上原価	62,601	68,116
売上総利益	30,056	30,840
販売費及び一般管理費	17,242	18,341
❷ 営業利益	12,813	12,498
営業外収益	426	558
営業外費用	809	510
❸ 経常利益	12,430	12,546
特別利益	32	138
特別損失	94	193
税金等調整前四半期純利益	12,368	12,491
法人税、住民税及び事業税	4,691	4,473
法人税等調整額	123	305
少数株主損益調整前四半期純利益	7,553	7,712
少数株主利益	358	213
❹ 四半期純利益	7,194	7,499

連結包括利益計算書（累計）

（単位:百万円）	第50期第3四半期 (2013.11.1～2014.7.31)	第51期第3四半期 (2014.11.1～2015.7.31)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,553	7,712
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	446	436
為替換算調整勘定	△ 6	12
その他の包括利益合計	439	449
四半期包括利益	7,992	8,162
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,635	7,952
少数株主に係る四半期包括利益	357	210



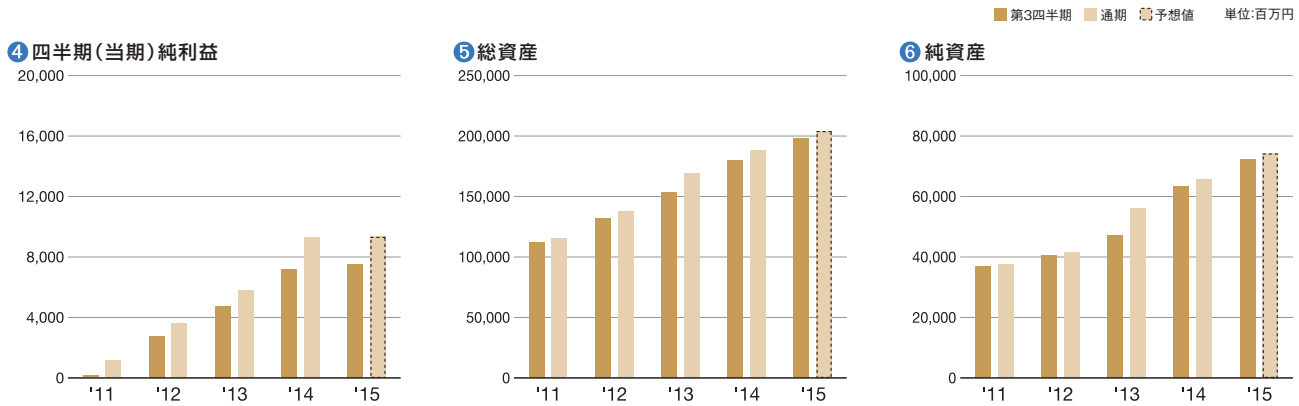
連結貸借対照表

(単位:百万円)	第50期第3四半期 (2014.7.31)	第51期第3四半期 (2015.7.31)
(資産の部)		
流動資産	67,671	75,749
固定資産	112,382	122,156
有形固定資産	104,332	113,212
無形固定資産	268	302
投資その他の資産	7,782	8,640
❺ 資産合計	180,054	197,905
(負債の部)		
流動負債	56,247	61,273
固定負債	60,463	64,232
負債合計	116,711	125,505
(純資産の部)		
株主資本	59,269	67,611
資本金	13,652	13,652
資本剰余金	14,916	14,916
利益剰余金	30,755	39,097
自己株式	△ 55	△ 56
その他の包括利益累計額	2,006	2,445
その他有価証券評価差額金	2,014	2,414
為替換算調整勘定	△ 7	30
少数株主持分	2,066	2,343
❻ 純資産合計	63,342	72,400
負債純資産合計	180,054	197,905

とってもいいモノ 読者プレゼント

巻末のアンケートハガキをご返送いただいた方の中から、抽選で100名様に当社ノベルティグッズをお贈りします。今号のプレゼントは、カナモトのオリジナルダイアリー手帳2016年版です。
水に強い塩ビ製の手帳カバーは、手触りのいいオーストリッチ風の仕上がり。表面に「カナモトアライアンスグループ」のシンボルマークを、裏面にはカナモト坊やをエンボス加工してあります。中面も機能性にこだわり、2週間分のスケジュール欄を見開きにした前半部分、そして集計表タイプのメモページをたっぷり設けた後半部分という構成。使い勝手のよさが発揮される一冊です。

ご応募の締め切りは2015年11月6日(金)当日消印有効です。
なお、当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。



TOPICS

IR関係　事業関係　イベント
※今後のスケジュールにつきましては実施予定日を記載

3Q

2015.5

- IR ラジオNIKKEI「ザ・マネー」スペシャルセミナーに参加
- イベント サンクスフェア2015：北見、高崎を皮切りにスタート

- IR 投資知識研究所特別セミナー in 熊谷に参加

2015.6

- IR 第51期（2015年10月期）第2四半期決算発表
- IR ラジオNIKKEI 8都市IRセミナー in 広島に参加
- イベント サンクスフェア in 袖ヶ浦、第一機械産業・鹿屋を開催

- IR 【東京】第51期第2四半期決算説明会を実施（機関投資家向け）

- イベント サンクスフェア in 岩見沢、九州建産・佐世保を開催
- 事業関係 ベトナムの現地法人が営業を開始
- IR ラジオNIKKEIの投資家向け番組「ザ・マネー ～火曜日 櫻井英明のかぶとびら」に出演
- イベント サンクスフェア in 帯広、酒田を開催

- 事業関係 羽田営業所（大田区京浜島）をリニューアルオープン
- 事業関係 平取機械センター（北海道沙流郡）を開設
- イベント カナモト・ユナイト 建設技術展示会 2015 in さっぽろを開催
- IR ラジオNIKKEI 8都市IRセミナー in 札幌に参加

2015.7

- 事業関係 長嶋茂雄 INVITATIONAL セガサミーカップゴルフトーナメントに協賛
- イベント サンクスフェア in 函館を開催
- 事業関係 三郷営業所・東京小型機械センター（埼玉県三郷市）を開設

- 事業関係 敦賀営業所（福井県敦賀市）を開設
- イベント サンクスフェア in 苫小牧を開催
- イベント サンクスフェア in カンキ・神戸西を開催
- 事業関係 タイ王国の現地法人が営業を開始

- IR 投資知識研究所特別セミナー in 鶴岡に参加
- IR 札幌証券取引所主催 個人投資家向け説明会 in 室蘭に参加
- 事業関係 道新・UHB花火大会に協賛
- 事業関係 汎用小型建設機械のレンタルを主業とする有限会社エーワ商会を子会社化
- 事業関係 環境広場さっぽろ2015に出展

4Q

2015.8

- IR 自己株式取得に係る事項の決定を発表
- IR 「JPX 日経インデックス 400」の構成銘柄に当社が新たに選定
- IR 日経IR・投資フェア2015（東京ビッグサイト）に出展

2015.9

- IR 第51期（2015年10月期）第3四半期決算発表
- イベント サンクスフェア in 第一機械産業・鹿児島を開催

- IR ラジオNIKKEIの投資家向け番組「ザ・マネー ～火曜日 櫻井英明のかぶとびら」に出演
- IR ラジオNIKKEI 8都市IRセミナー in 金沢に参加
- イベント サンクスフェア in 旭川を開催

- IR ラジオNIKKEI 8都市IRセミナー in 福岡に参加

2015.10

- IR ラジオNIKKEI 8都市IRセミナー in 仙台に参加　10/24（土）

会社概要

商号	株式会社カナモト（英文：Kanamoto Co., Ltd.）
本社	北海道札幌市中央区大通東３丁目１番地19
営業統括本部	東京都港区芝大門１丁目７番地７
設立	1964（昭和39）年10月28日
資本金	136億52百万円（払込済資本金）
上場取引所	東京証券取引所市場第一部・札幌証券取引所
証券コード	9678
発行済株式総数	36,092千株
連結売上高	1,255億55百万円（2014年10月期）
連結従業員数	2,339名（2014年10月31日現在） （役員、嘱託、臨時社員を除く）

役員

代表取締役社長	金本	寛中*
取締役	金本	哲男**
	卯辰	伸人***
	成田	仁志*
	平田	政一*
	北方	敬一*
	礒野	浩之*
	金本	龍男*
	長崎	学*
	麻野	裕一*
	椋梨	直樹*
	橋口	和典*
	井尻	康之
	野上	善弘
常勤監査役	金本	栄中
	横田	直之
監査役	橋本	昭夫
	辻	清宏
	直井	晥
	曽我	浩司
執行役員	熊谷	浩
	問谷	悟

（注１）*印の取締役は、執行役員を兼任しております。
（注２）**印の取締役は副社長執行役員を兼任しております。
（注３）***印の取締役は専務執行役員を兼任しております。
（注４）取締役井尻康之氏及び取締役野上善弘氏は社外取締役であります。
（注５）監査役橋本昭夫氏及び監査役辻清宏氏、監査役直井晥氏並びに監査役曽我浩司氏は社外監査役であります。

株主メモ

事業年度	11月1日から翌年10月31日まで
定時株主総会	毎年　1月中
同総会議決権行使株主確定日	毎年　10月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年　4月30日
期末配当金受領株主確定日	毎年　10月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部　〒100-8212 東京都千代田区丸の内１丁目４番５号
同郵便物送付先 及び電話照会先	三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂７丁目10番11号　電話 0120-232-711

当社公告の掲載につきましては、当社ホームページに掲載いたします。
ホームページのURLは下記のとおりです。
http://www.kanamoto.co.jp または **https://www.kanamoto.ne.jp**
なお、やむを得ない事由により、ホームページに公告を掲載することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株式に関する各種お手続きについて

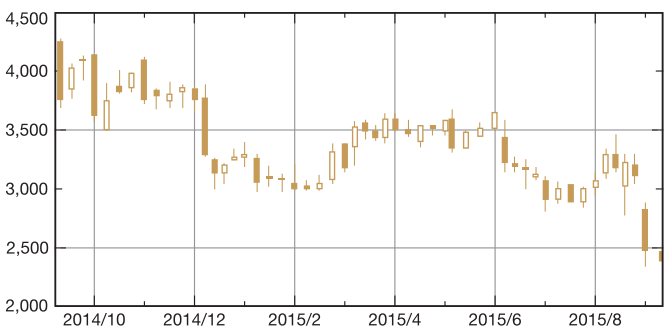
（1）株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

（2）特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

（3）未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株価チャート（週足）

（単位：円）



本誌は、再生紙とベジタブルオイルインキを
使用しております。

株式会社カナモト
（東証一部・札証　証券コード9678）

本社
〒060-0041　札幌市中央区大通東3丁目1番地19
Tel:（011）209-1600（大代表）

営業統括本部
〒105-0012　東京都港区芝大門1丁目7番地7

http://www.kanamoto.co.jp